



■ 第2回 国際出願と国際調査Q&A

国際事務局(RO/IB)を受理官庁とするPCT出願

2024年11月21日

PCT 法務・ユーザーリレーション部
上級法務官

毛利 峰子(Mineko Mohri)

講義前のクイズ（4問）

1. 国際出願はどの受理官庁に提出すればよいですか？
2. 国際出願する場合の言語はどうなりますか？
3. 国際調査報告と国際調査機関の見解書の中で注意して読むべき点は何ですか？
4. 国際調査機関の見解書の評価が良かった場合に出願人が利用できるおすすめの活用方法はありますか？

講義前のクイズ（答え）

1. 国際出願はどの受理官庁に提出すればよいですか？
 - 出願人の国籍又は住所によって受理官庁が決まる
 - 日本の国民又は居住者の場合の受理官庁は、「日本特許庁」又は「国際事務局」です
2. 国際出願する場合の言語はどうなりますか？
 - 国際出願の言語は、受理官庁が認める言語
 - 日本特許庁は日本語及び英語
 - 国際事務局は何語でも（ただし1月以内に管轄国際調査機関が受理する言語への翻訳が必要。ISA/JPの場合は日本語又は英語です）

講義前のクイズ（答え－続き）

3. 国際調査報告と国際調査機関の見解書の中で注意して読むべき点は何ですか？

- 先行技術文献の記載（引用文献名とカテゴリー）
- 請求項の特許性に関する見解、文献と説明

4. 国際調査機関の見解書の評価が良かった場合に出願人が利用できるおすすめの活用方法がありますか？

- 特許性あり（新規性・進歩性・産業上の利用可能性すべてありとされた請求項が存在）

PCT-PPHの申請により早期に各国の審査結果が得られる

国際事務局(RO/IB)を受理官庁とする PCT出願（1）

■ WIPO

- 受理官庁としての国際事務局（RO/IB）
- 国際事務局(IB)としての役割



■ RO/IB

- 対象：すべてのPCT締約国の国民又は居住者は、RO/IBを受理官庁として国際出願を行うことができる
- 出願方法：電子出願ePCT、紙出願（郵送・持参）、ePCTビジネス・コンティニュイティ・サービス（緊急時のみ）、ファクシミリ（14日以内に原本提出）但しファクシミリは推奨されない
- 言語：いかなる言語でも提出可能（ただし1月以内に管轄国際調査機関が受け入れる言語に翻訳が必要）
- 代理人：出願人が居住又は国民である締約国の国内官庁に対して業として手続きをとる権能を有する者

国際事務局(RO/IB)を受理官庁とする PCT出願（2）

■ RO/IBへのお問合せ先

☐ 電話： +41 22 338 92 22

☐ E-mail：ro.ib@wipo.int

(いずれも日本語での対応可能です)

■ ウェブサイト

☐ <https://www.wipo.int/pct/ja/filing/filing.html>

- PCT受理官庁としての国際事務局へどのように国際出願を行うことができるか？
- 考慮すべき特別な事項は？
- 受理官庁としての国際事務局に出願する際、国際出願はどの言語で行うことができるか？
- 管轄国際調査機関及び国際予備審査機関は？
- 誰が代理人として行動できるか？
- 支払うべき手数料は？
- 手数料の支払方法は？
- 国際事務局に国際出願を行う際のあて先は？



国際事務局(RO/IB)を受理官庁とする PCT出願（3）

■ ePCTスタートガイド/ePCTご利用開始までの流れを紹介

https://www.wipo.int/export/sites/www/pct/ja/epct/docs/epct_getting_started.pdf

□ **ステップ1**：WIPO Account（WIPOユーザアカウント）を作成

□ **ステップ2**：認証方法を選ぶ

→ ワンタイムパスワード(SMS方式又はアプリ方式)が最も簡単

→ 高度な認証については、2つ以上の認証方法を設定することを推奨

□ **ステップ3**：ePCTのすべての機能が利用可能になる

→ ePCTを利用して書類の提出、国際事務局への連絡が可能

■ ウェブサイト

□ WIPO日本事務所のHP中「ePCT（PCT電子サービス）関連資料」のコーナーもご参照ください

前回のPCTウェビナービデオとプレゼン資料は、以下のウェブページの「アーカイブ」欄からご覧いただけます
<https://www.wipo.int/pct/ja/seminar/webinars/index.html>

WIPO 検索 IP Portal ログイン

知財について ▾ 知財データベース・資料 ▾ 知財保護・管理 ▾ 協力・連携 ▾ WIPOについて ▾

ホーム > PCT 制度

PCT ウェビナー

ウェビナーとは、PCTの関連情報、研修や最新情報について、WIPOがインターネットを通じて中継で参加している視聴者に提供するものです。

特定のPCTトピックスに関するウェビナーへの参加にご興味ございましたら、[PCT training](#) 宛に電子メールをお送り下さい。

今後のPCTウェビナー

PCTウェビナーシリーズ (全3回)

WIPOコンサルタントの淺見節子氏（明治大学客員教授・弁理士。「PCTの活用と実務（第3版）」共著者。）を講師として3回連続シリーズでPCTを活用していただくためのウェビナーを実施します。講義後には約30分間のQ&Aコーナーがあります。

初級者でも理解できる内容ですので、中小企業や大学、公的研究機関の研究者や知財担当の方にもご参加いただき、PCTの活用について理解を深めていただければ幸いです。なお、講義資料及び講義内容については、昨年と重なる部分もございます点、ご了承ください。

いずれの回も、講義は約1時間（17:00-18:00）、その後30分間（最大18：30分まで）の質疑応答を予定しています。

- 国際出願と国際調査
第2回 11月21日（木）

関係するリンク

- [セミナーカレンダー \(英語版\)](#)

WIPOウェビナー一覧へのリンク

(英語版)



アーカイブ

このファイルのご視聴には最新のmedia playerのご利用をお勧めします。古いバージョンのmedia playerはウェビナーの全てのビデオ及びオーディオコンテンツを含まない可能性があります。

保存された録画のご視聴が難しい方は、パワーポイントのプレゼンテーション資料をダウンロードして下さい。

- [PCTの概要とメリット 第1回 11月13日（水）\(2024年11月13日\)](#) [PDF](#) | [PDF](#)
- [新制度「（特定技術分野の）特許出願の非公開制度」とPCT出願 \(2024年3月13日\)](#) [PDF](#) | [PDF](#)

アンケートへのご協力をお願いします
11月28日(木)の次回ウェビナーもご参加ください

